

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科三年課程	夜・通信	9単位 270時間	9単位 240時間	
	第一臨床検査学科	夜・通信	9単位 270時間	9単位 240時間	
	第二臨床検査学科	①夜・通信	7単位 195時間	7単位 180時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

一覧表を作成し、申請により閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

一覧表を作成し、申請により閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	富田病院理事長 京都博愛会病院理事長	2023年3月5日 ～ 2025年3月4日	学校法人の業務を決し、業務遂行の監督を行う。 学校経営に対する職務を行う。
非常勤	京都リハビリテーション病院理事長	2023年3月5日 ～ 2025年3月4日	学校法人の業務を決し、業務遂行の監督を行う。 学校経営に対する職務を行う。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <p>授業計画については、継続して行っていることの良い点、改善すべき点を前年度中に学科会議で話し合った上で、担当科目教員と講師との意見交換を経て、学科会議で検討しシラバスを作成する。参考資料は科目試験、科目模擬試験、授業アンケート、学生の技術到達点などである</p> <p>授業計画書の作成・公表時期</p> <p>作成：前年度末 公表：年度初め</p>	
授業計画書の公表方法	申請により書類閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする 2. 履修の評価は試験により行う 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可は合格、不可は不合格とする 4. 履修評価に合格した者に対して、所定の単位を与える 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の成績一覧を作成し、科目ごとの平均点、学生個人の平均点を算出、全体的な成績状況の把握を行っている。 学生の単位認定状況は、年度末単位認定会議終了後、学生本人に通知している。 また、G P Aを用いた成績管理を実施し、成績の分布状況の把握に努めている</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>申請により書類閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>看護学科三年課程および第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して、学校長が卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学則および学則施行細則の関係条項を申請により閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	申請により書類閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	申請により書類閲覧可能
財産目録	申請により書類閲覧可能
事業報告書	ホームページにて公開、申請により書類閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/plan/
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開、申請により書類閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/plan/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科三年課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104 単位 (2,970 時間)	81 単位 (1935 時間)	単位時間 /単位	23 単位 (1035 時間)	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		104 単位 (2,970 時間)					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		117 人	0 人	11 人	18 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>体験型・探求型学習を取り入れ、自ら問いを立てながら学ぶ方法を取り入れている。カリキュラムの進捗は、臨床から基礎へ、臨床に近いものや看護を知ってから基礎を学ぶような順序で進めている。</p> <p>実習については、1年次に「地域でくらす人を知る実習」「看護を知る実習」「健康障害をもつ人を支える実習」、2年次に「健康段階に応じた生活を支える実習」「おとなの健康を支える実習」、3年次には5月～11月にかけて、「地域でくらす人の健康を支える実習」「急激な健康破綻状態にある人を支える実習」「高齢者の健康を支える実習」「子どもと家族の健康を支える実習」「マタニティサイクルを支える実習」「こころの健康障害をもつ人を支える実習」「看護マネジメント実習」を実施する</p>
成績評価の基準・方法
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする 2. 履修の評価は試験により行う 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可は合格、不可は不合格とする 4. 履修評価に合格した者に対して、所定の単位を与える

卒業・進級の認定基準
<p>卒業の認定</p> <p>看護学科三年課程および第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して、学校長が卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない</p> <p>進級の認定</p> <p>所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の進級は認めない。各学年の所定の単位を取得した者の進級を認める</p>
学修支援等
各学年とも担任制をとっている。担任は複数で担当し偏りがないようにしている。学生からの修学相談は随時受け付けている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	32人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院（京都私立病院協会加盟病院、京都府立医科大学附属病院 他）、介護医療院			
(就職指導内容) 学生の希望、学生と病院との相性を確認した上で紹介している。 卒業時演習を実施、知識・技術等の確認を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	9人	7.5%
(中途退学の主な理由) 精神的・身体的な理由、成績不振、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制をとり、学生の状況を常に把握し、複数の教員により状況を聞き取るようにしている		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第一臨床検査学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	108 単位 (2,895 時間)	67 単位 (1590 時間)	6 単位 (165 時間)	35 単位 (1140 時間)	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			108 単位 (2,895 時間)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		90 人	0 人	9(兼務)人	14 人	23 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>学生個々が iPad を所有し、講義や実習の資料閲覧や記録に活用している。1 年次においては理科室基礎科目のリメディアル教育を実施し、高校等における学習に不足のある学生をフォローしている。</p> <p>臨地実習は、1 年次後期に病院検査室で 1 週間の心電図実習、2 年次後期に病院、検査センター、健診センターで計 12 週間の実習を行なっている。</p> <p>また、3 年次には知識のまとめと国家試験対策の授業を重点的に実施し、国家試験合格へと導く</p>
成績評価の基準・方法
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする 2. 履修の評価は試験により行う 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可は合格、不可は不合格とする 4. 履修評価に合格した者に対して、所定の単位を与える
卒業・進級の認定基準
<p>卒業の認定</p> <p>看護学科三年課程および第一臨床検査学科は 3 年間、第二臨床検査学科は 4 年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して、学校長が卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の 3 分の 1 を超える欠席をした者の卒業は認めない</p> <p>進級の認定</p> <p>所定の授業日数の 3 分の 1 を超える欠席をした者の進級は認めない。各学年の所定の単位を取得した者の進級を認める</p>
学修支援等
<p>各学年とも担任制をとっている。担任は複数で担当し偏りがないようにしている。学生からの学修相談は随時受け付けている</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	3 人 (14.3%)	13 人 (61.9%)	5 人 (23.8%)

(主な就職、業界等) 病院、衛生検査所、検診センター
(就職指導内容) 専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また希望施設の見学等を実施し納得した形で就職先を決定している
(主な学修成果 (資格・検定等)) 臨床検査技師
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97 人	9 人	9.3%
(中途退学の主な理由) 精神的・身体的な理由、成績不振、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制をとり、学生の状況を常に把握し、複数の教員により状況を聞き取るようにしている		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第二臨床検査学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	107 単位 (2,550 時間)	68 単位 (1365 時間)	4 単位 (105 時間)	35 単位 (1080 時間)	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		107 単位 (2,550 時間)					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		57 人	0 人	9(兼務)人	19 人	28 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>学生個々が iPad を所有し、講義や実習の資料閲覧や記録に活用している。入学当初から生活の安定を図るため担任と面談を行い、必要に応じて医療系アルバイトを紹介している。</p> <p>臨地実習は、2 年次後期に病院検査室で 1 週間の心電図実習、4 年次前期に病院検査室等で 11 週間の実習を行う。</p> <p>また、4 年次には知識のまとめと国家試験対策の授業を重点的に実施し、国家試験合格へと導く</p>

成績評価の基準・方法
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする 2. 履修の評価は試験により行う 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可は合格、不可は不合格とする 4. 履修評価に合格した者に対して、所定の単位を与える
卒業・進級の認定基準
<p>卒業の認定</p> <p>看護学科三年課程および第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して、学校長が卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない</p> <p>進級の認定</p> <p>所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の進級は認めない。各学年の所定の単位を取得した者の進級を認める</p>
学修支援等
各学年とも担任制をとっている。担任は複数で担当し偏りがないようにしている。学生からの修学相談は随時受け付けている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、衛生検査所、検診センター			
(就職指導内容) 専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また希望施設の見学等を実施し納得した形で就職先を決定している			
(主な学修成果（資格・検定等）) 臨床検査技師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	3人	5.1%
(中途退学の主な理由) 精神的・身体的な理由、成績不振等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制をとり、学生の状況を常に把握し、複数の教員により状況を聞き取るようにしている		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科 三年課程	300,000 円	600,000 円	200,000 円	
第一臨床 検査学科	300,000 円	700,000 円	400,000 円	
第二臨床 検査学科	300,000 円	400,000 円	300,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://www.kyohosen.ac.jp/about/assessment/ 申請により書類閲覧可能		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価委員会は、学識経験者、卒業生、在校生の保護者等からの委員、7人～11人以内で構成する。</p> <p>学校運営や学生の動向、教育の進め方などを知らせるために毎月の校務運営会議議事録を送付し、学校運営、教育活動、学生の修学の成果、学生への修学支援や就職活動支援、入学試験状況並びに地域への貢献、そして教職員の研修など勤務体制について評価する。また、財務状況については中間決算および年度末決算について理事会の議事録をもって報告し評価する。</p> <p>業務の改善点等がある場合は、学校長、学科担当理事、教務部長、事務局長で構成する校務運営会議にて検討の上、各学科会議に下ろし改善方法を決定していく。結果は校務運営会議の議事録をもって各関係者に知らせる</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高井司法書士事務所	2023年4月1日～ 2025年3月31日	学識経験者 (司法書士)
AtaGO 社会保険労務士事務所	2023年4月1日～ 2025年3月31日	学識経験者 (税理士)
	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生 (看護師)
宇治徳洲会病院	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生 (臨床検査技師)
西陣病院	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生 (臨床工学技士)
	2023年8月1日～ 2025年7月31日	保護者 (看護学科三年課程)
	2023年8月1日～ 2025年7月31日	保護者 (臨床検査学科)

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://www.kyohosen.ac.jp/about/assessment/ 申請により書類閲覧可能
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyohosen.ac.jp/
--